

第12回神経化学の若手研究者育成セミナー開催のご報告

本年7月24日と25日にNeuro2019(第62回日本神経化学会大会)に合わせて第12回神経化学の若手研究者育成セミナーがホテルオークラ新潟で開催されましたことをご報告いたします。今回は46名の学生・PDに受講生としてご参加いただきました。初日は17時より、講師10名が5班に分かれて合計2時間の講義を実施し、その後、2日間に渡り全体討論会を開催しました。若手育成セミナー出身者によるショートトークや受講生たちの工夫を凝らした自己紹介、さらには飛び入り参加を含む参加者全員の自己紹介などを行うことで、受講生と参加者の距離が縮まったと思います。サイエンスについての熱いディスカッションやキャリアについて相談することのできる機会は、若手研究者にとって非常に重要であると思います。参加者の先生方と気軽に話することができる本セミナーは、受講者にとって神経化学の魅力を感じることのできる場所なのではないでしょうか。また、本セミナーには若手・準若手の会員5名がチューターとして参加してくださっています。各班のまとめ役として講義を円滑に進めてくださり、また、受講者と参加者の橋渡しとしてご活躍くださり、とても頼もしく感じました。

全体討論会は会員の皆様が自由にご参加いただけるようになっております。本年も多くの会員の皆様にご参加いただきましたが、この輪を今後もっと広げて行けたらと思っております。セミナーの様子は日本神経化学会若手育成セミナーのホームページで紹介しておりますので是非ご覧ください。

(http://www.neurochemistry.jp/joj6q847t-268/#_268)

今回の運営におきまして、多数の会員の先生方や企業様から差し入れやご寄付をいただきました。この場を借りましてご厚意に感謝申し上げます。

第12回若手育成セミナー世話人代表
若手育成委員会委員長
照沼美穂